

(別添7)

事業所名 グループホームしらゆり竹田

2 目標達成計画

作成日: 平成 26年 6月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の生活歴、希望や意向の把握が記録として残されているものが少ないため、職員が共通認識として把握できない可能性があると同時に、介護計画にも充分反映されないという懸念がある。	利用者が何を望み、どんな暮らし方が相応しいのか、職員全員が把握できるように記録を書面に残し、利用者がその人らしく充実した生活を送れるよう介護計画に反映させる。	日々の関わりの中で、利用者と職員のコミュニケーションを密にし、利用者の発した言葉や思いを記録として残すと同時に、それを基に利用者がその人らしく暮らしていくためにはどのようなサポートが必要であるのか職員全員で検討していく。	6ヶ月
2	26	ケアプラン作成において、関係者(利用者、家族、職員、ケアマネ等)による具体的支援に関する話し合いで不十分な点があり、必ずしもプランが利用者の現状に即したものであるとは言えない。	利用者がより良い生活を送れるよう、現在の課題とケアのあり方を明確にし、現状に即したケアプランを作成する。	利用者の現状課題とそれに対する支援計画を関係者全員で吟味し、生活支援計画表に反映させた上でケアプランの作成に活かす。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。